

サッカースタジアムの指定管理者選定に向けた状況について

1 要旨・目的

サッカースタジアム指定管理者選定について、広島市において公募手続きが開始されたため、状況報告する。

2 現状・背景（経緯）

- ・令和3年3月31日 サッカースタジアムと広場エリア等の整備について、DB（デザインビルド）事業者を選定【代表者：大成建設】
- ・令和3年8月31日 広場エリアの賑わい施設整備・運営を担う民間事業者（PPFI）を選定【代表者：NTT都市開発】
- ・令和4年2月1日 サッカースタジアムの工事着手（令和6年2月開業予定）

3 概要

（1）サッカースタジアム指定管理者募集の概要

ア 募集期間

令和4年10月7日 ～ 令和4年12月15日

イ 指定期間

令和5年12月28日 ～ 令和15年3月31日

ウ 業務の内容等

（ア）指定管理業務

施設及び設備の維持管理、使用許可、行為の許可等に関すること。

（イ）自主事業

多機能化施設や売店の設置・運営、また、スポーツの普及振興やにぎわい創出を目的としたイベントの実施等を行うこと（カフェ、レストラン、ミュージアム等）

- ・年間を通じて幅広い世代の県民・市民など多くの集客が見込める提案
- ・平和やスポーツの歴史等を発信する提案
- ・平和記念公園から紙屋町・八丁堀地区周辺に至る回遊性の向上に資する提案

などを求める。

（ウ）周辺施設との連携

a 中央公園広場エリア

隣接する中央公園広場エリアの指定管理者と連携し、スタジアムと中央公園広場エリアの一体的な運営を行うとともに、広島市や県等が参画した運営協議会を組成し、一体的なにぎわい創出に努めること。

b 中央公園全体

中央公園内の各施設管理者で構成する協議会（令和4年7月27日設立）に参画し、中央公園全体の魅力向上に向けた取組（回遊性の向上等）を行うこと。

(2) スケジュール

令和4年10月7日	公募開始（令和4年12月15日まで） 応募要領・業務仕様書公開
令和4年10月～令和5年1月	公募手続の実施
令和5年2月～3月	指定管理者の指定に関する議案の審議（広島市議会）
令和5年4月頃	指定管理者の指定
令和5年12月28日	指定管理開始（令和15年3月31日まで）
令和6年2月	サッカースタジアム供用開始

(3) 予算（単県）

—

(4) 今後の対応

これまでサッカースタジアム等の整備に当たっては、「広域からの集客」や「県全体の活性化や中枢拠点性の向上」に繋がる施設にすべきと求めてきたところであり、引き続き、県が求めてきた内容が実現されるよう、広島市と連携していく。

※参 考

- ・広場エリアの指定管理者については、令和3年度に Park-PFI 事業を実施する事業者を指定管理者候補者（予定）として選定しているため、公募は行われない。
- ・指定管理者公募開始に合わせて、外観・内装イメージ等が別紙のとおり、広島市HP等で公開されている。

まちのシンボルとなる「翼」をイメージした大屋根は灰白色とし、低・中層部は広島県の風土・記憶を取り入れたアースカラーとします。



南東側立面イメージ

「翼」をイメージした灰白色の大屋根がスタジアムを軽やかに包み込む。

スタジアム低・中層部は、中央公園と旧太田川河川敷に連続するデッキやバルコニー等により水平線を強調し、中央公園と多層的につながる。

旧太田川沿いの桜並木、広島花崗岩といった広島の風土・記憶を取り入れた景観に馴染む色として、ほんのり赤色を取り込んだ外壁色を採用し、中央公園の豊かな自然に溶け込む外観デザインとする。

スタジアムの外壁をライトアップし、シンボルとなるスタジアムの表情に奥行きを感じさせる。



鳥瞰イメージ

応援が大空に沸き立つ躍動感、水面から飛翔する上昇感をランダムなグラデーションで表現します。



スタンドイメージ

3色構成

広島風土・記憶である瀬戸内、旧太田川といった「水の都」を象徴する澄んだ水の色である「青色」と落ち着きのある深い水の色である「群青色」、水面の水しぶきをイメージした「灰白色」の3色により構成する。

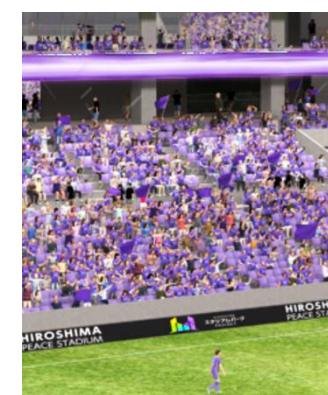
配色

水面から飛翔する上昇感、また、観客の応援が大空に沸き立つスポーツの躍動感を感じられるように、ランダムなグラデーションとし、下層部を深い群青色から上層部の大屋根の灰白色に向け、中間色の青色との比率を変化させて一体感を演出する。

また、ランダムなドット構成は、空席を感じさせず、選手や観客の高揚感を高めることが期待できる。



水面から飛翔する鳥
(イメージ)



観客の応援 (イメージ)

県産材による木を基調としたインテリアとし、広島県の風土・記憶をデザインコードに取り入れた温かみのある「おもてなし空間」とします。



デザインコード

広島県の風土や記憶を空間のデザインコードとして取り入れる。

- ・三矢の訓をイメージした矢羽根デザイン
- ・水の流れをイメージしたゆらめく水面のようなデザイン
- ・広がりゆく交歓の環をイメージした円形デザイン



ホスピタリティエリア

国内外の様々なお客様をおもてなしする空間として、県産材の広葉樹の落ち着いた質感とやさしい木目の風合いにより温かみのあるインテリアとする。

室内照明は間接照明等による暖かい色味を採用する。

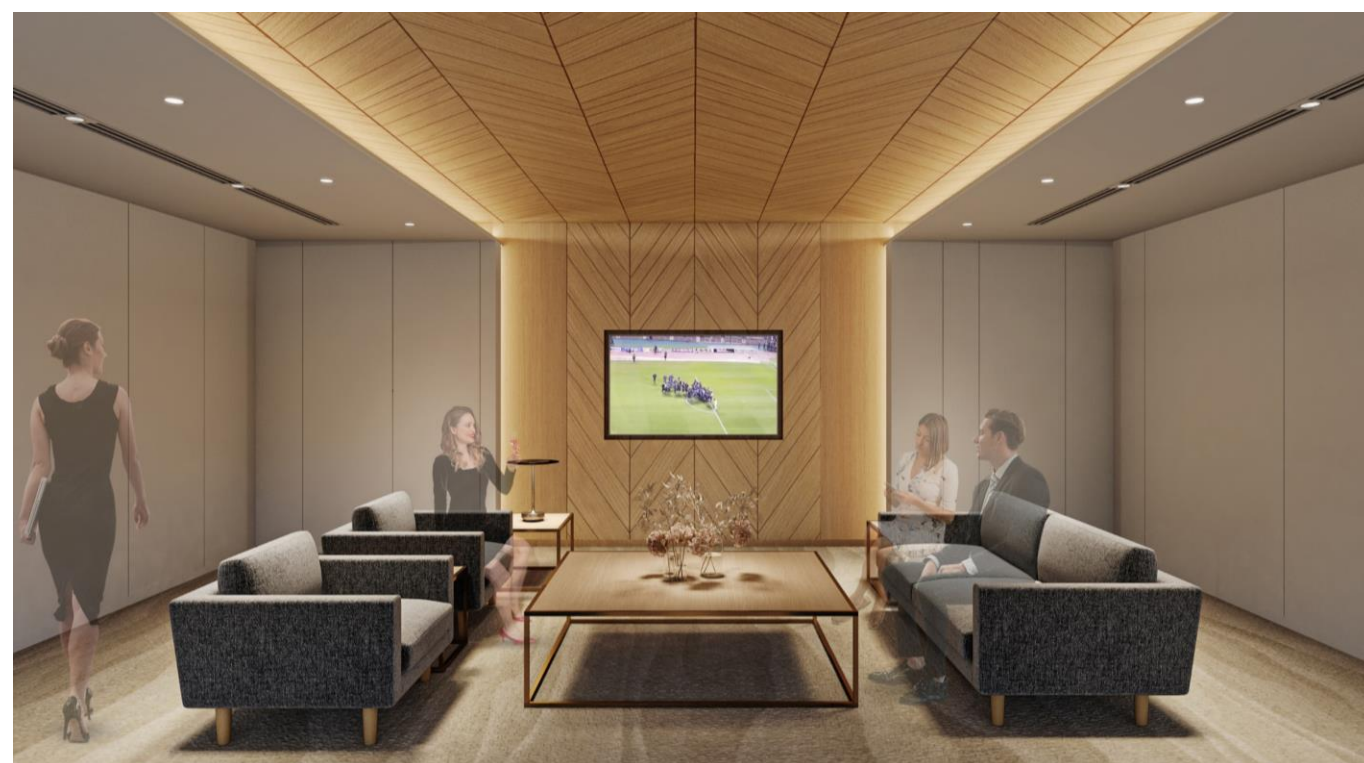
壁面や天井等には、矢羽根をモチーフにしたデザインを採用する。



2階：VIPラウンジ



1階：トンネルラウンジ



2階：VIP室



4階：スカイボックス

モノトーンを基調とし、水の流れをイメージした緩やかな曲線を描いたコンコース照明が「ワクワク空間」を創出します。



コンコースエリア

モノトーンを基調とし、誘導サインは白黒のコントラストで視認性や誘目性を高める。

2・3階には、多目的利用が可能なディスプレイを配置し情報発信するとともに、コンコース照明は水の流れをイメージした大きな曲線を描くように配置し、単調ではなく人々の回遊を促す「ワクワク空間」を創出する。

フィールドビューテラスやパーティーテラスなどの多様な観客席は、照明パターンやサイン配置を工夫することでスタジアムの魅力が感じられる空間を演出する。

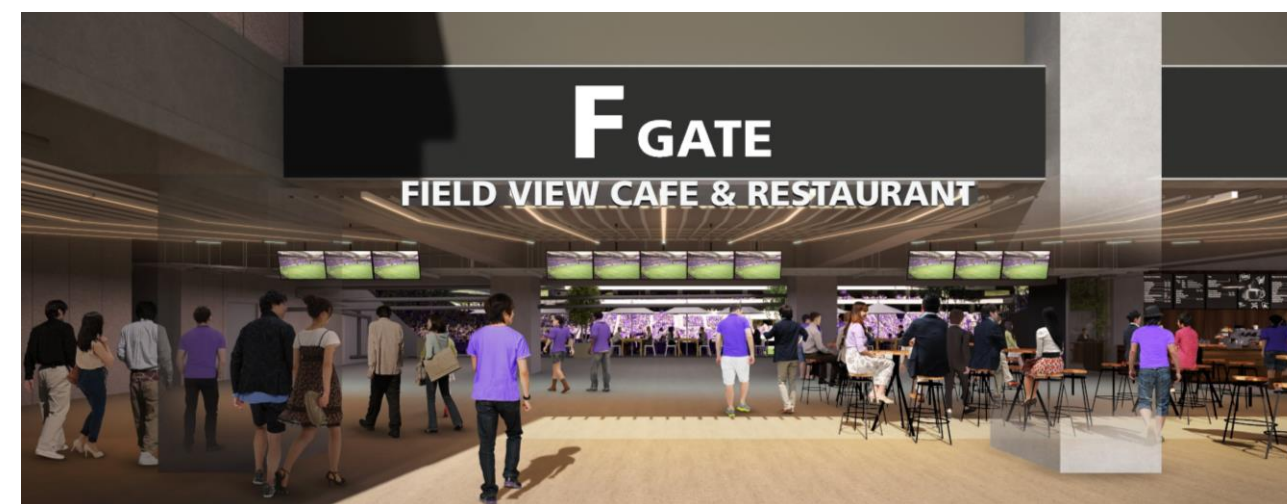
2階のパークコンコースは、広場や川とのつながりを意識してアースカラーでまとめ、水の流れからイメージした緩やかな曲線を照明や床面にデザインモチーフとして用い、人々を誘うとともににぎわい空間を創出する。



2階：スパイラルスロープ廻り



断面パース（2階：フィールドビューテラス・3階：メインコンコース）



2階：フィールドビューテラス



2階：パークコンコース



3階：メインコンコース



4階：パーティーテラス